

李国荣さん(協力交流研修員)

光陰矢の如し。高山での研修はあつという間に終わりました。今の気持ちは複雑であり、今まで積み上げた記憶のかけらが頭に浮かんできます。

研修を通して、私の医療知識や技術は格段に向上しました。最も重要なのは視野が広がり、新しい考えを持てたことです。帰国後は、高山赤十字病院で学んだ知識や技術、そしてサービス精神と理念を、母国の医療発展のために生かしていきたいと思えます。母国の地元の人々により良い医療サービスが提供できるように頑張ります。

そして、高山で感じた地元の方々への優しさと思いを母国の人々に伝えていきたいと思えます。高山



と麗江の架け橋となり、両市の協力友好交流に自分の力を尽くしたいと思えます。

感謝の気持ち、感動の涙、そして深い愛情を込めて、高山と麗江両市の明日が美しく輝く未来となるようにお祈りいたします。ありがとうございます。

ロベルト・オーデイス・デ・オル・ボカンジェルさん(協力交流研修員)

まずは、高山市での滞在中に多大なるサポートをいただいた、市民の皆様、國島市長、研修先の市職員の皆様に感謝を申し上げます。私は高山市に滞在中、4つの機関で研修を受けました。

最初の部署は、ブランド・海外戦略部です。この部署では、海外からの誘客策に関するプロモーション戦略や、姉妹友好都市との協力体制などについて学ぶことができました。また、2つ目の部署の資源リサイクルセンターでは、環境への配慮をしながらゴミ処理をする方法を学ぶことができました。なお、同センターでの期間中には下水道センターの見学機会も設けていただきましたが、この下水処理に関する研修は最も印象に残るものでした。3つ目の商工課では、中小企業の振興に関する支援策や地場産品のプロ



モーションを学ぶことができましたし、4つ目の観光課では、市の中枢部門の一つとして観光客への多岐に渡る情報提供や、職員の皆さんが連携して実施する観光プロモーションが印象に残りました。この町での滞在は、私にとって忘れがたい経験であり、この町の美しい自然や伝統的な景色を忘れることはないでしょう。食については何を食べても美味しく、飛騨牛だけでなく、地元産の豚肉や野菜、お酒など、大変美味しいものばかりでした。また、食べ物だけでなく、伝統工芸品など、高山で見たものの形、色、仕上がりなどはいずれも美しく魅了されました。今回、ペルーに戻らなければいけないのは大変寂しいですが、高山で学んだ施策や文化等を自国に帰っても生かしたいと考えます。ここに住む皆様の温かさや、行き届いたサービス、高い治安はまるでパラダイスにいるようでした。本当にありがとうございました。

木質バイオマス活用促進補助金制度を改正しました

市では、平成26年3月に策定した「高山市新エネルギービジョン」の目指す姿である「市民誰もが身近で豊かな自然を利用し、自然エネルギーの利用による暮らしの豊かさを実感できるまちづくり」を推進するための取組みのひとつとして、木質バイオマス(ペレット・薪・チップ)を燃料とするストーブやボイラーの導入に対する助成制度を設けています。

これまで助成回数を1回としていましたが、2台目以降の導入も対象にするほか、大型ボイラーの補助率を1/6から1/3に拡大するなど、さらなる普及のため制度改正しました。

住宅用や事務所用をはじめ、農業用ハウスなどの温度管理のための機器(暖房機・温風機)も対象ですので、ぜひこの制度を活用しての導入をご検討ください。

①ペレットストーブ等導入促進補助金

対象者 自ら居住する住宅や自らが活動する施設等に設置しようとする市民、市内事業者等

対象経費 ペレットストーブまたは薪ストーブの本体購入費

助成額 補助対象経費の1/3以内の額 上限10万円

②ペレットボイラー等導入促進補助金

対象者 市内の住宅や施設に設置しようとする市民、市内事業者等

対象経費 ペレットボイラーもしくは薪ボイラー、またはチップボイラーの導入にかかる経費(本体購入経費を含む設備費、工事費)

助成額

・出力40,000kcalを超えるもの

補助対象経費の1/3以内の額 上限500万円

・出力40,000kcal以下のもの

補助対象経費の1/3以内の額 上限30万円

※いずれも市内事業所からの購入、事前の申請が必要です。

詳しくはお問い合わせください。

申込 環境政策推進課
問合先 ☎35-3533